

にゅーひん

ふたなり
♂♀シン
よな娘と
!

にゅーひん

♂ふたなり
♀シンよ娘と
!



ねえ
一緒に茶しない？

そんなに
怒らなくても
いつもいつも
一人で寂しそうな
顔してるじゃん

気になるアノ娘は
ふたなりっ娘!?

私に近づかないでって
言ってるでしょ！

そんなことつ
無いつ

放っておいてよ！

あ

タッ
タッ

あらお友達？
みほなら帰ってるから
あがつて良いわよ

はい
お邪魔します！

はあ
こんなじゃダメって
わかってるのに…

寂しいな
皆と仲良くしたいな

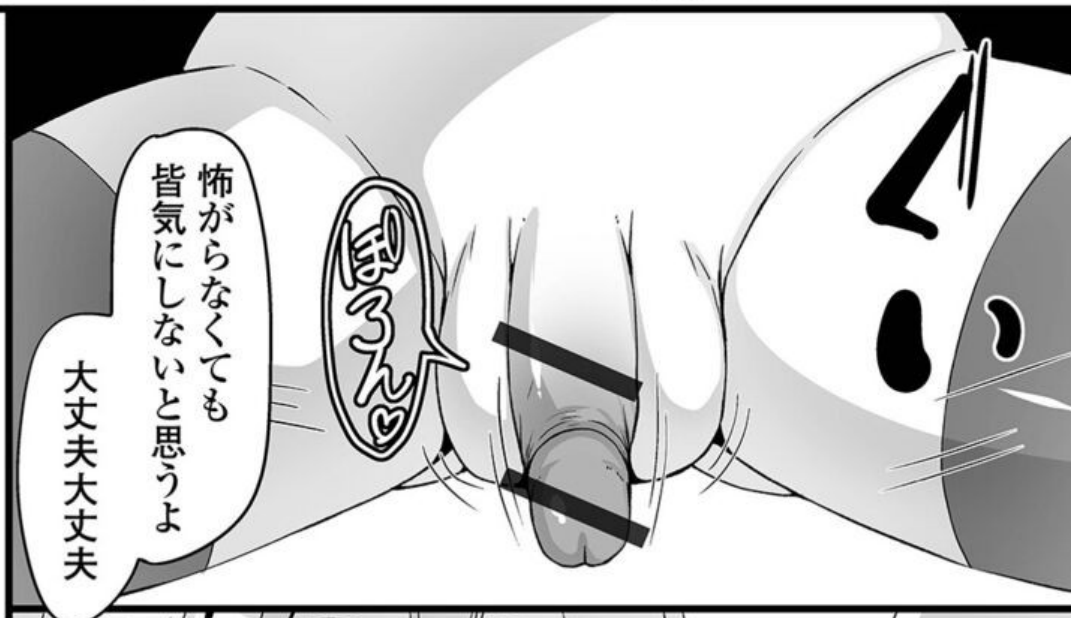
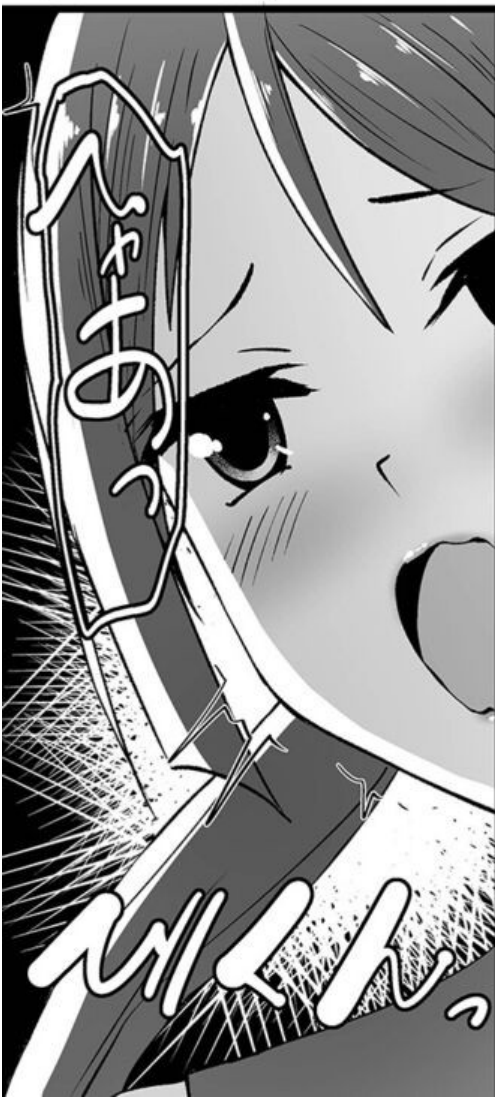
なんで
こんなモノが
ついてるんだろう

バレるのも
怖いよ…

ほほん

グ
チャ
リ

ニ
ヤ
ー





スリ

スリ

おはま
おはま
おはま

おはま

んー？ずっと
みほちゃんのこと
が
気になってたから

無理してるの
見え見えだったしー

わん
わん
わん

スリ

おはま
おはま
おはま

あゝ
大きくなった
がちがち
私のお口
気持ちいい？

何でこんなこと
するの？

スリ

スリ

わん
わん
わん

おはま

おはま

あわっ

汚くないよ
熱くて臭くて
すぐくエッチ
折角こんなに
立派なものがあるのに
勿体ないよ

おはま

おはま

おはま

もっと
自信もっと！

おはま

ダメだよ
汚いよ

おはま

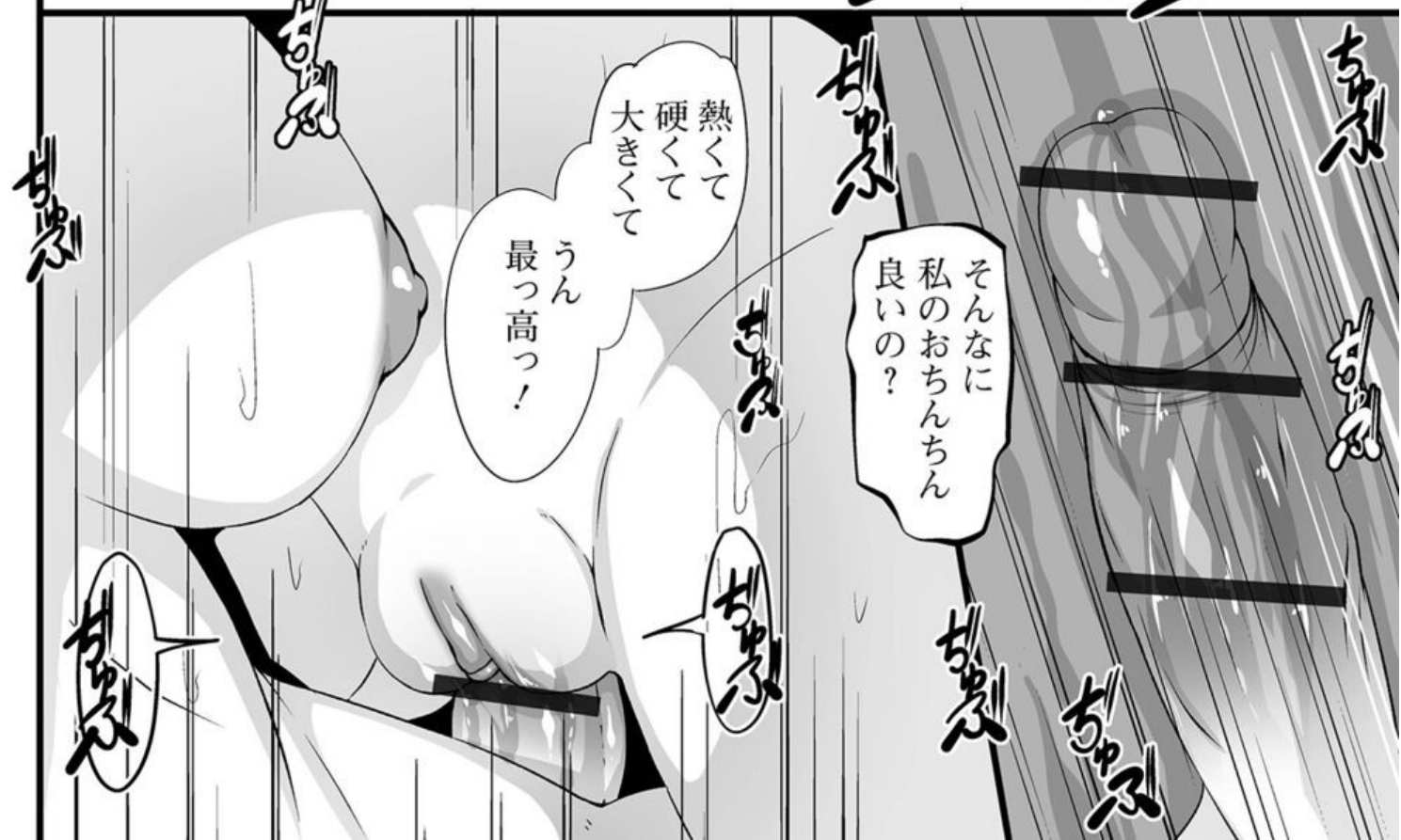
おはま

おはま





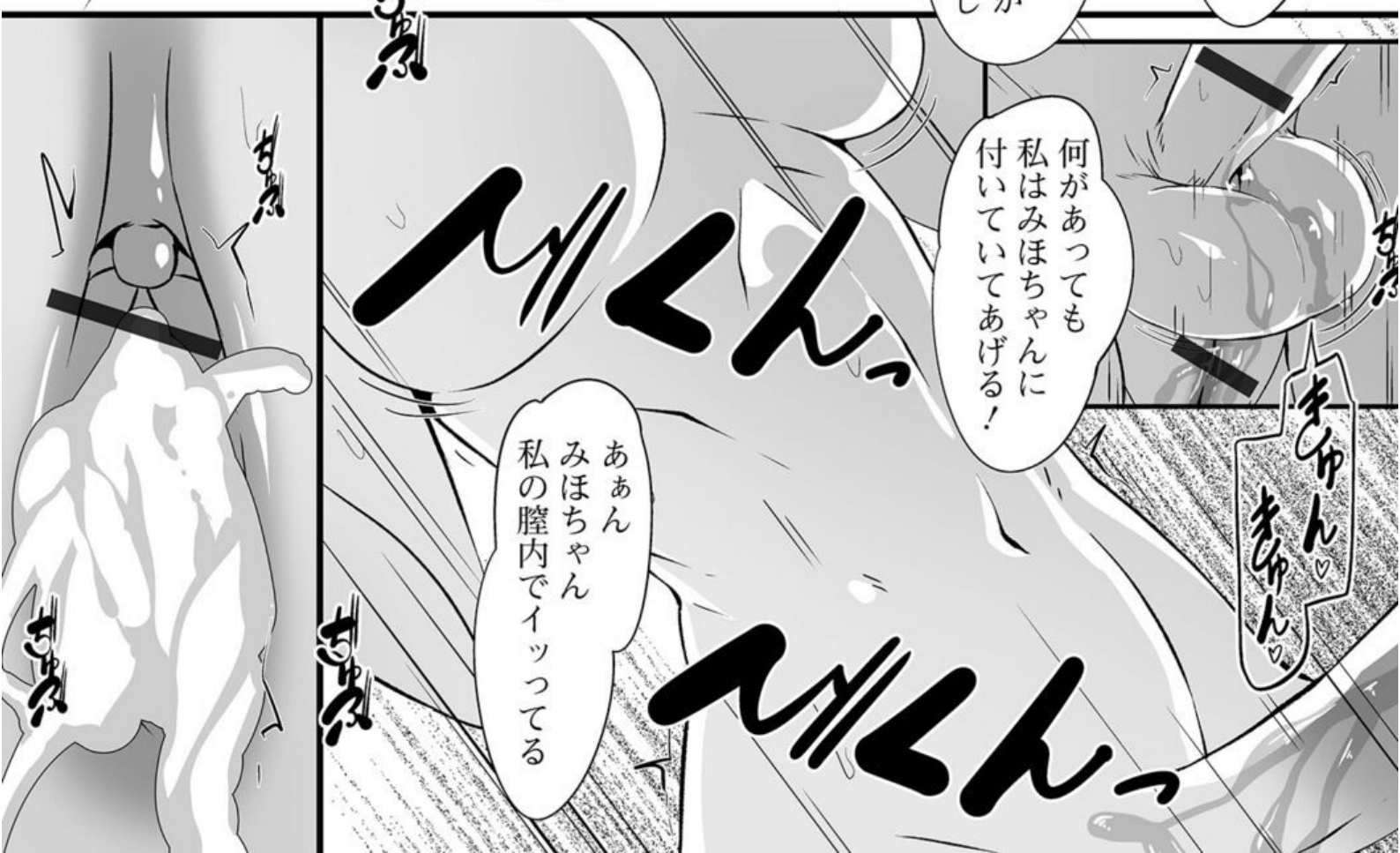






皆イチコロ
自信持つて！

私ももう
みほちゃんの
おちんちんしか
考えられないし



ああん
みほちゃん
私の膣内でイッてる

何があっても
私はみほちゃんに
付いていてあげる！

みほちゃん♡
みほちゃん♡



ひやあ
いきなり！

ああああ
みほちゃんはげしひッ！



かおりちゃん
ありがとう！

怖がらなくても
良かったんだね

ごめんね！
嬉しくて腰が
止まらない！



そうだよ！

もっと激しくして！

私をめちゃくちゃに
して！

かおりちゃんの膣内
どんどんトロトロになつて
私のおちんちんに
吸いついてくる！

おちんちんが
こんなに気持ちよくな
るの

私初めて！





はあはあ
自信付いた？

うん
ありがとう

かおりちゃんが
いるから
もう怖くないよ

まあ
私がいなくても
大丈夫だと思う
けどねー

え？

まっ まっ



はあ

はあ

後日

かおりちゃんは友達に
私のことをバラし

その結果私の元には
たくさん女の子が
来るようになりました

ああん
みほのチンポ
マジやっぱいい！

ちゅ

ちゅん
ちゅん

ちゅん

ちゅ

はあ

ちゅ

ちゅん

ちゅ

次は
私の番だよ
独り占めしないですよ

あの…
私の自由は…

はあ

はあ

こんな良いもの
隠してた罰！
しばらく
言いなりになりなさい！

END



ちーん

はあ
もう学校行きたく
無いなあ

ねえねえキミ!
カワイイね

ちよつと私と
遊ばない?

えーそんなことないよー
自信持ってよ

え?
ポッポク?

そうよ!

僕がかわいいなんて...
いつもキモイキモイって
言われてるし

んー
そうだ!
私について来てよ!

ボクも
捨てたもんじゃない

私が
自信をつけて
あげるよ!

あっあの
ここって…

見ればわかる
でしょ

こういうことを
する所!

あーん
おちんちんも
カワイイー!

ズル

ふん

ひやッ
やっ
やめっ

いいじゃんいいじゃん
もつとよく見せてよ

うふふ
まだ柔らかくて
ふにやふにや

ふにゃん

おち

ふんっ

ふふ
恥ずかしがら
なくても大丈夫

いやああ
恥ずかしいよ

私にも
キミと同じモノ
付いてるんだし

え？

それ…

ぐにゅ
おち♡♡

ぐにゅ
ぐにゅ

ふんっ

私いく
ふたなりなんだく









ムクムク

ヒヤッ

いい加減にしろー!
こうしてやる!

ハッ

そんな!
こんなの恥ずかしくて
ボクッ

ムクムク



ムクムク

ハッ

ムクムク

ムクムク

ハッ

ムクムク

フリー♡
フリー♡

ひゃあ!

男の子も
乳首いじられるの
気持ちいいんだよ

ほら!
自分の顔を
よく見なさい!

ムクムク

ムクムク

ムクムク

ムクムク

ムクムク

シュ1シュ1シュ1



ミルミル

ほらほら
どんどんエロくなーれっ

はあ
はあ

あは

は
は

あ
あ
ん

たっ確かに自分の
顔じゃないみたいだ…

そういえば
今まで碌に鏡とか
見たことなかったな

ベキベキ

目をそらさないの！

あはは
キミの顔
すっごいエッチ！

セク
セク
セク

セク
セク
セク









ねえ
ボク自信もって
良いんだよね

おねえさんの
おちんちんがさつきから
どんどん硬くなって

行ってるのは
ボクがエロイから
なんだよね

そっそうだよ!

あつあつ
スゴイツ
熱すぎで
おちんちん
溶けちゃう

はー
はー
はー

きゅん
きゅん





あつあつ
もうダメ！

ズンズン

おちんちん
脈打ってる！
ボクの中で
悦んでる！

ズンズン
ズンズン
ズンズン
ズンズン
ズンズン
ズンズン

ズンズン

ズンズン

おねえさんの
精液がボクの中に！
ボクこんな
幸せなの初めて！

ギョッ
ギョッ
ギョッ

ギョッ
ギョッ
ギョッ

ギョッ
ギョッ
ギョッ
ギョッ
ギョッ
ギョッ

ああん
もうすつごい
積極的になったね

わざわざ
君の方から
会いに来て

カワイイ
おちんちん
こんなにしちやつて

僕もう
おねえさんのこと
考えちゃうと

ちんちん
止まらなく
なっちゃうんだ

ほほ

あ♡
あ♡

ほ♡
ほ♡

ほ♡
ほ♡

おにゅ♡

あ♡

やん
あつうい
もうお漏らし
しちゃったの？

でも
まだまだ
元気そう

んん
んん

きゅん
きゅん

カリ

カリ

んん
んん

カリ
カリ

んん
んん

END

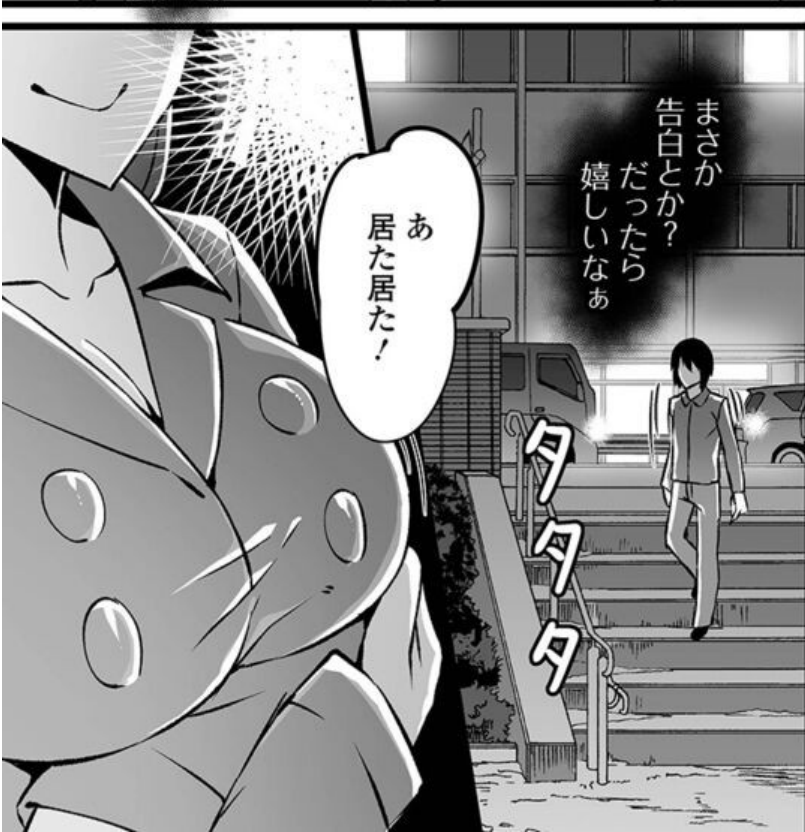
優等生の告白



成績良くて清楚で
カワイイ子だし

学期末テスト トップ50		492点
1	平沢 由利	487点
2	道明寺 章	485点
3	田中 裕也	479点
4	鈴木 真由里	478点
5	砂糖 千沙	

声を掛けられるなんて
思ってたかったな



お待たせ
話したいことって
何かな？

ここだと
ちよつと…あの…
だから奥の方行こう

実は私ね…

いつもこちらの方
見てるみたいなんだけど
私のこと好きなの？

えっと…
その実は…

そうなんだ…
わかった

あとね
今日これから
やることは誰にも
言わないで欲しいの

うん
わかった

毎日が
どうしようもなく
退屈でこんなアソビを
するようになった

まほ

バサッ

どき

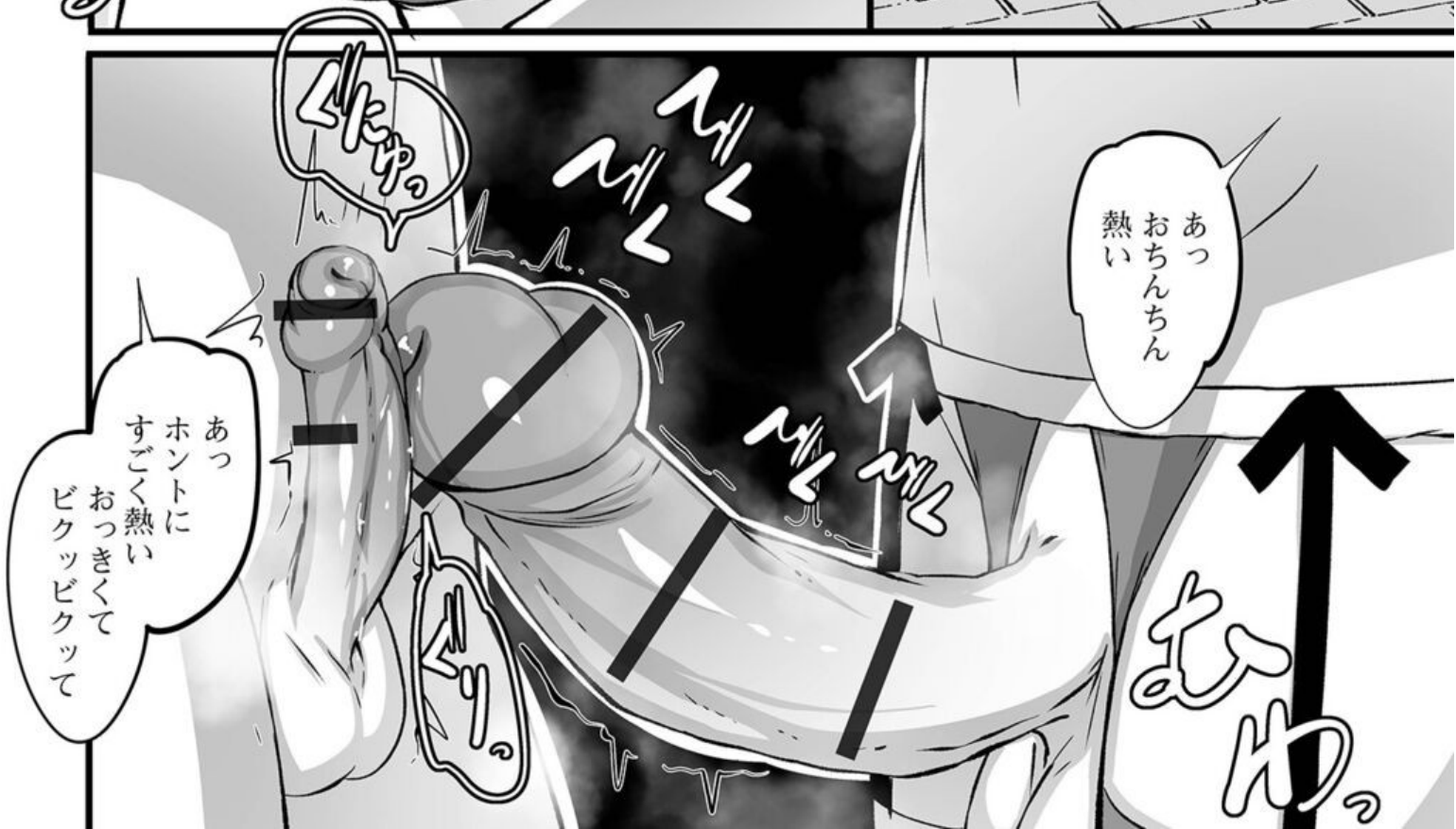
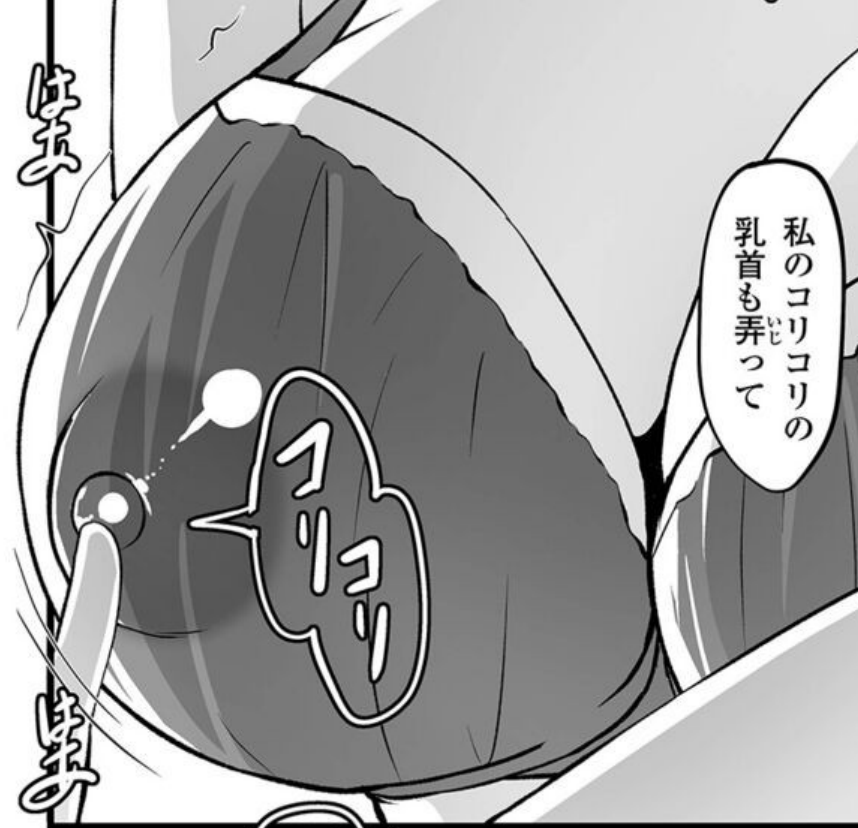
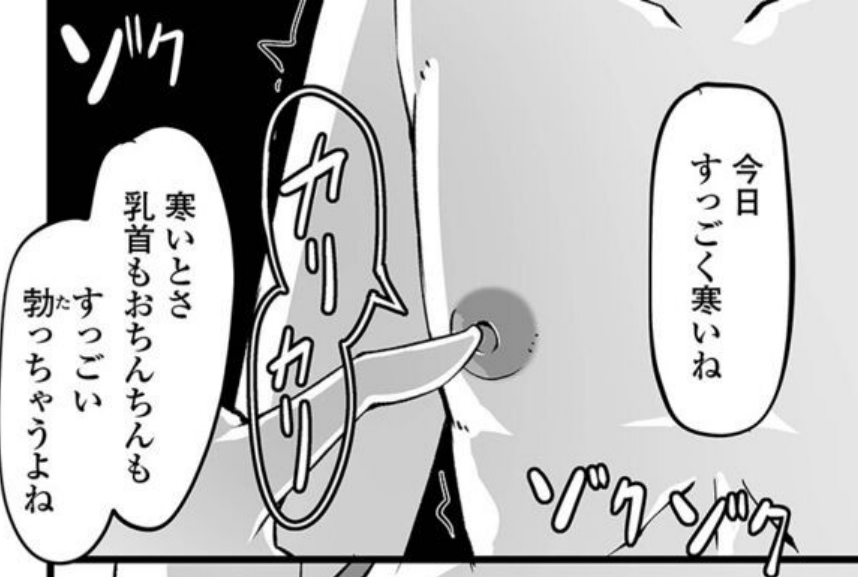
どき

ほうん

ほうん

あーっ♡







じじじ

はあ

はあはあ...

ねえ
お口でして欲しいなあ
いや？

大きな...

ちゅっ

ちゅっ

ん

口の中でも
ドクドク脈打ってるが
分かる

ああん
ハルト君の口の中
あったかくて気持ちいい

ちゅっ

ちゅっ

ちゅっ

ちゅっ



はあはあ
ユリちゃんの
精液ドロドロで
くさあい

ひゃあ!

んー
ぶはっ

あーん

ムチ子

ムチ子
ムチ子



ムチ子

ムチ子

ムチ子

あわ

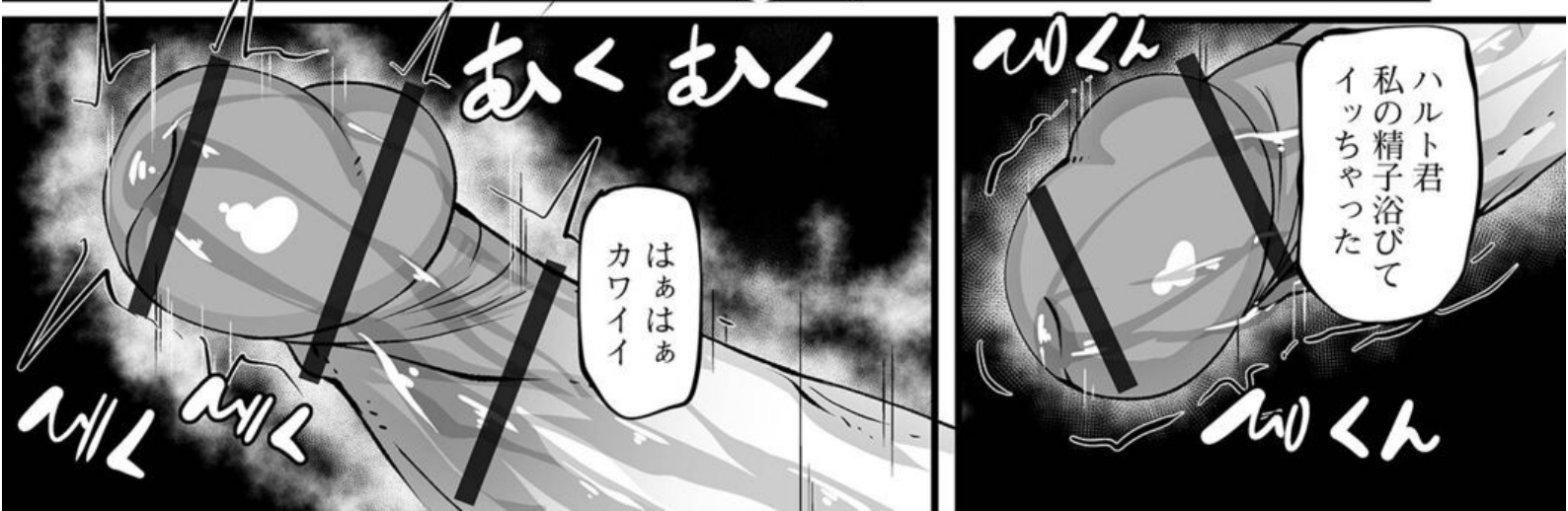
あつ
イツちやった

ムチ子



ほほ

ほほ



あくあく

はあはあ
カワイイ

あくあく

ハルト君
私の精子浴びて
イツちやった

あくあく

クイッ

はあはあ
ユミちゃん…
楽しんで
くれてるのかな
でも
もっとスリルあること
出来るよね…

ユリちゃん
こっち！

おや

えっ！
そっちは！



ユリちゃん
飽きてきちゃって
たんでしょ

ならもっと
大胆に





ちよ 333ー

あわ

こんなところで
あんなに
気持ちよさそう

はま

はま

はまのうき

ハルト君

あゝ

な

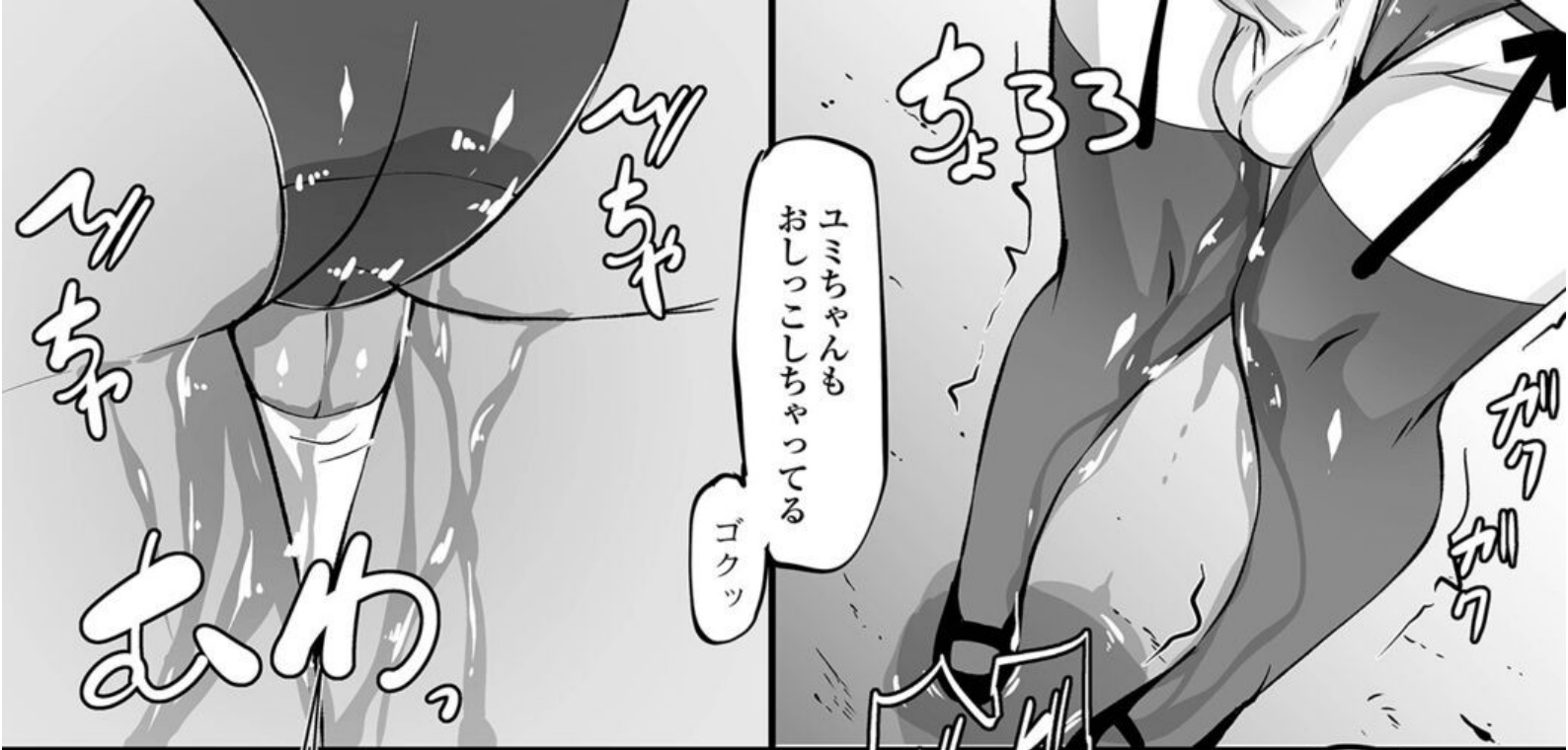
私でも
こんなこと
出来なかった

おっ

あに、あに

見られたら
終わっちゃうのに

ビキ





ひゃああ
ユリちゃんの
おっきいのが

入ってくるー

ボクのお尻
キョんキョん
しちゃってる！

はあはあ



ハル君がこんなに
私のことわかって
くれるなんて
思ってたかった！

私ひとりじゃ
こんなスリル
味わうことも
出来なかった！

ハル君のおかげ！

私
ハル君に
自分のこと
打ち明けてよかった！



ユリちゃん
イツちやつた!

まっちゃん
まっちゃん

またイツちやつた
嬉しくてちんちん
止まらない!

すごい
ボクの中で
ユリちゃんが
ゴリッ

ゴリッって

えぐって
ユリちゃんの
形にさせられ
ちやつてる!

まっちゃん
まっちゃん





おた
おた

キッ
キッ

キッ
キッ

もつと奥にきてえ

ズン

ズン

はあはあ
ハル君の中
ドンドン熱くなって
トロトロになって

アッアッ
もうダメッ

ボクもッ

おた

おた

おたん
おたん



ハッ

ハッ

ハッ

ハッ

ハッ

ハッ

ハッ

ハッ

ハッ

ハッ

ハッ

ハッ

ハッ

ハッ

僕も
ユリちゃんのお
ちんちんが
無いとむりい...

はあはあ
こんなに
イッたの
初めてえ
もう
ハル君の穴
忘れられ
ないい...

いきいき

アッアッ
こんなとこでえ

やばすぎ

はあはあ
はあ

見つかったら
ボクたちどう
なっちゃうんだろ

いん

いん

ショショ

だめえ
止められない！

い

バグバグ

きん
きん

ろろ

いんいん

END

きん
きん

いんいん

いん
いん

いん
いん

いん
いん





おー
似合ってる
似合ってる〜

やっぱり
お前かわいいな!



嫌だよ!
こんなの!!

あつ
行っちゃった



おーい
委員長〜

ん?

奏のこと
連れ戻して
来てくれよう



なんで
僕の衣装が
コレなんだよっ!

オトコノコ?
オトコノコ?



でも

おねがい

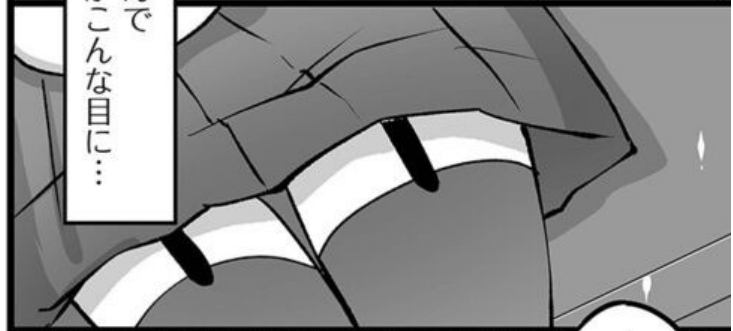
奏を目覚めさせることが
出来るのは委員長だけだ！

みな
皆に頼まれ
ちゃったね



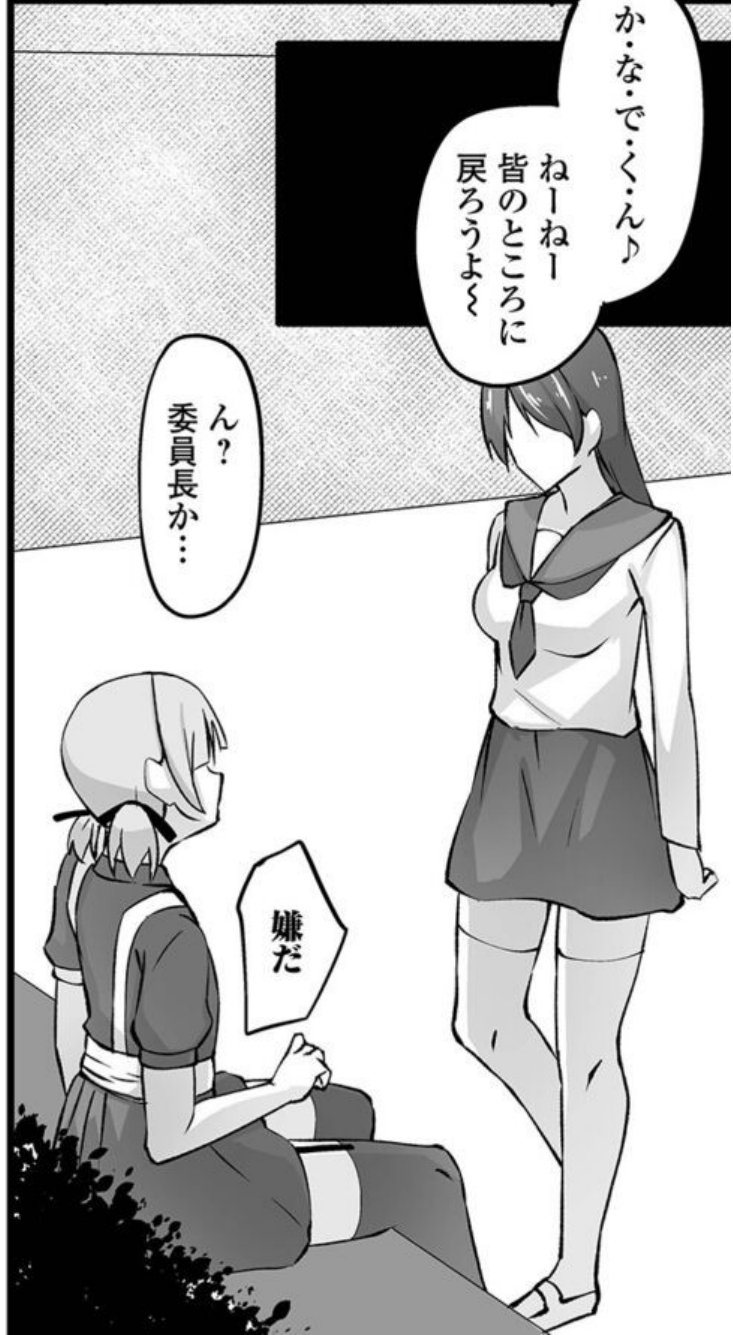
文化祭で喫茶店をする
ことになったのだが接客は
女子連中がすることにな
っていたはずだった…
なのに…

なんで
僕がこんな目に…



かな・で・く・ん♪
ねーねー
皆のところ
に
戻ろうよ

ん？
委員長か…



嫌だ



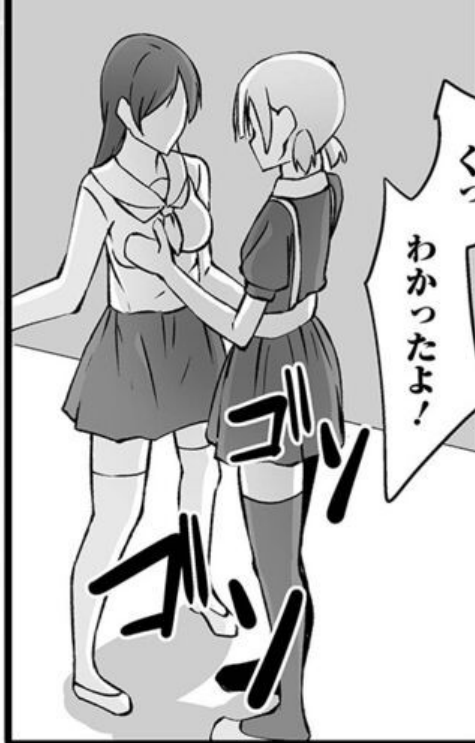
皆で女の子みたいだとか
かわいいだとか…

僕がもっと
男らしくったら
こんなことには
ならなかったかな…

はあ

ふーん男らしく
なりたいたんだね
じゃあ奏君
オトコノコ度チェック
してみよっか！

私のこと
犯して！



ぐっ
わかったよ!

男子は皆
大喜びで
飛びついてきたけど
奏君は来ないの〜
男らしくなりたいん
じゃないの?

ふふ♡

むち

むち

ぽん♡



うわ
委員長
ふたなりってホント
だったのか

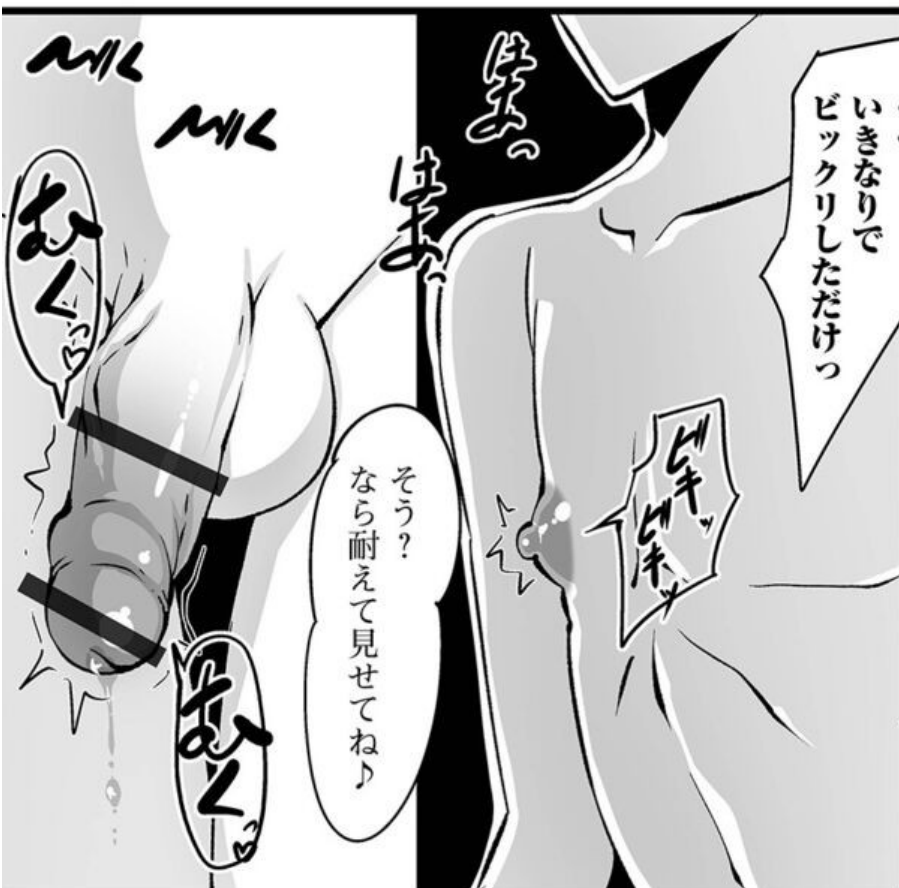
ぽん♡

そうだよ〜
どうどう〜
結構自信あるんよ〜

むわ









ところで
さっきから
私のコレ
チラチラ見ては
目をそらしてるけど

あれあれゝ
気持ちいい
のかなゝ?
女の子みたいな声
が
漏れてるよゝ

どうしてかなあゝ

ほあ

ほあ

ほあ

ほあ

ほあ

えっ

あつあつ!

まんまん

めんめん





ふふ

じゃあ最終項目♪

奏君はく

むわ

入りたい？

入られたい？

あは

はあ

はあ

はあ

はあ

はあ

あは
やっぱり♪

ゲイ

ゲイ

ゲイ

ゲイ

まやまん

まやあっ

好きな方を
選んでいいよ

ふふ
じゃあ私が奏君を
男の娘にしてあげる♪





元の身体に戻れなくなっちゃ

ひゃあん

おちんちん
入れられて悦んじやう
身体になっちゃったあ



ふふ
奏君のお尻がキュンキュン
締まって

私のせーし
飲みたいって
言って

搾りだそうと
してくるよ

精子でいっちゃう
男の娘になりたいでしゅ

ひやあい
飲みたいでしゅ





奏君
連れてきたよ

ザワッ

お前…
本当に奏か？

委員長は
やっぱり流石だな！

ザワ

ザワ

いやあ
あの巨根突っ込まれたら
ひとたまりもないだろ

あは

なあに
欲しいの？

いやあ
遠慮しとくよ
普通にさせてくれ

なあんだ
残念

END



私はお父様が
このお屋敷の当主様の使用人
という繋がりです
次期当主である
お嬢様の使用人として働くこと
になったのですが…

いつも
失敗ばかり…

あらあら
ちゃんと片付けておいてね

メイドさんは ふたなり娘



ふふ
カワイイ……



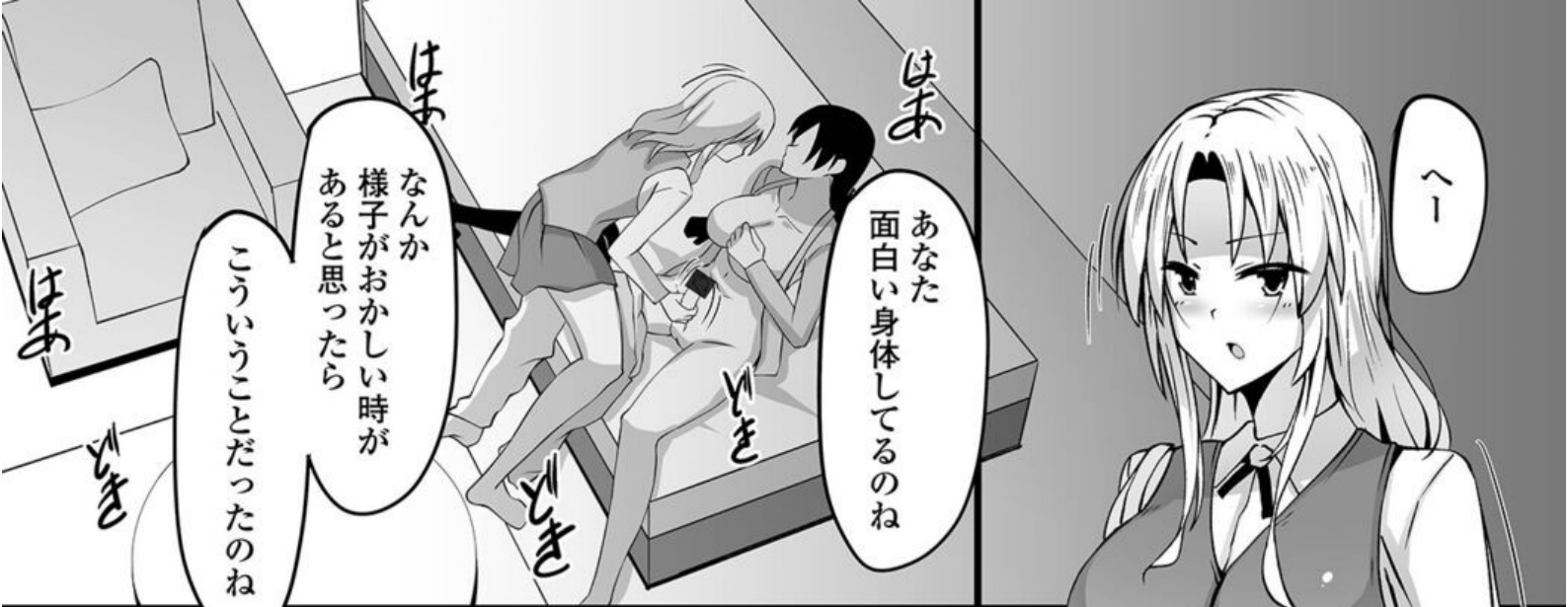
しっかり
お嬢様のサポートを
しなければならなかった
のですが

そして
今日から一週間
当主様とお父様は
私とお嬢様を
残して外出すること
になっているので









へー

はあ

あなた
面白い身体してるのね

はあ

はあ

はあ

なんか
様子がおかしい時が
あると思ったら

こういうことだったのね

はあ

はあ



お嬢様っ

これは
そのっ

はあ
はあ
はあ
ごめんなさい!



謝ることなんて
無いわ
あなたと遊ぼうと思って
こんな物を持ってきてみたけど

予定を変更してえ
あなた明日からコレを
身に着けて仕事をしなさい♪

え!?
これを着るんですか!?

そうよ

うう...



ちょ
朝食でございます

ふふありがとうございます

うう…
はずかし…

おっぱいも
おちんちんも
はみ出ちゃいそう

スト



うわうん

カッ

ひゃっ

おっ

うん

あら？
どうしたの？

顔赤くして
それに



はく

また
お嬢様に迷惑かけて
しまつて...
どうしよう...

どうしたの？
元気なさそうだけど...

雑草が生えてきて
しまつていますね

しっかり
片付けておかなつ

きゅ

ひゃっ

お止めくださいっ

ひゅっ

えっ

もにゅ

もにゅ

もにゅ

コ
コ
コ

コ
コ
コ

コ
コ
コ





お嬢様…

大変申し訳ありません…

色々考えたのですが
これ以上ご迷惑をかける
わけにも行きませんので



このお仕事を
やめることにいたします

うづ

うい

んきー

ガハ

はー

あ

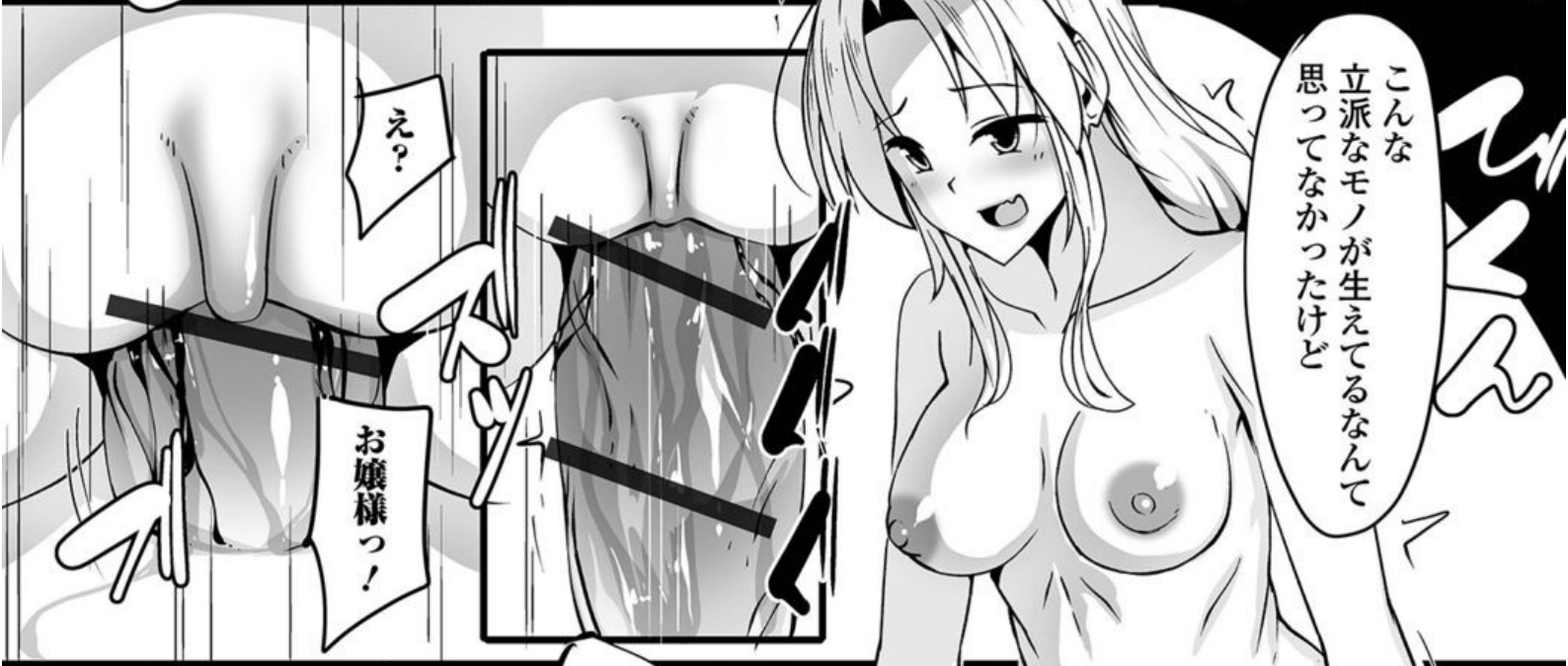
ドキ



あなたに
悪戯したのは
悪かったと思っ
ているわ

いつも
失敗ばかりでも
一生懸命な

あなたの事が
可愛くてついね…



こんな
立派なモノが生えてるなんて
思っ
てなかつたけど

え?

お嬢様っ!



ビックリした?

今まで
不自由だったでしょ

でも
私はあなたも
あなたのおちんちんも
大好きよ

ちゅる

ちゅる

ちゅる

はっ

はっ

はっ

ぽん
ぽん
ぽん

そんな
私はどう責任を取ればっ!

ぽん

まずは
夜のお仕事から
特訓しましょうね♪

しっかりお仕事を
出来るようになって貰う
ことかしら♪
ふふふ

ぽん

ぽん





七年後

お嬢様

いつてらっしゃい
ませ

どうか
なさいましたか？

……

昔のことを
思い出していたわ

ふふふ
今夜はアノ服を着て
私の部屋へ
いらっしゃい

はい

END







どき

どき

どき

ガン

ガン

どき

どき

どき

はま

はま

どき

どき

どき

こんなところ
大丈夫なの？

えっ
えっ

えっ
わからないって
そんなっ

でも

おねえさん
バッキバキに
なってるよ

メチャクチャ
興奮しちゃってるじゃん

そっ
それは

ボクも
硬くなりすぎて
おちんちん痛い





ちゅぽ

私も我慢
できない

えへへ

お尻は
使い込んでるからね

ちゅぽ

柔らかっ
なにこれえ

はあ

あ

あ

はあ

ああん
お姉さん
のおちんちん

おおきすぎ

ボク
のお尻壊れちゃう

お姉さん
の形になっちゃう

ぽんぽん

ぽんぽん

ぽん

ぽん

ちゅぽ







END